

1. 到達目標

A) 一般目標

初期研修医が患者中心のチーム医療の一員として、基本的な呼吸・循環、疼痛管理が安全かつ確実に実施できるために、周術期を通じて必要な知識・技術・態度を身につける。

B) 行動目標

- (1) 各麻酔法を説明でき、それらの合併症と対策を説明できる。
- (2) 術前診察、術後診察ができる。
- (3) 患者の状態に応じた麻酔計画を立てることができる。
- (4) 麻酔に必要な物品を準備できる。
- (5) 末梢静脈路を確保できる。
- (6) 気道確保ができる。
- (7) バッグによるマスク換気ができる。
- (8) 気管挿管ができる。
- (9) 人工呼吸の各換気モードを説明し、設定できる。
- (10) 麻酔導入、覚醒時の問題を説明し、対処できる。
- (11) モニターの役割を説明し、使用できる。
- (12) 麻酔薬(鎮静薬、鎮痛薬、筋弛緩薬)の効用、副作用を説明し、使用できる。
- (13) 各循環作動薬について説明し、使用できる。
- (14) 各輸液剤の適応を説明し、使用できる。
- (15) 各血液製剤の適応を説明し、使用できる。
- (16) 各スタッフ、患者との良好なコミュニケーションがとれる。

2. 方略(On the job training(OJT))

- (1) 術前診察を行い、麻酔施行上の問題点や麻酔計画を提示し、討議する。
- (2) 指導医の下に麻酔管理を行う。
- (3) 術後診察を行い、患者の感想、鎮痛の程度、合併症の有無などを確認し、麻酔計画を見直す。

3. 評価

- (1) 研修医は、EPOC2 の研修医評価表で、臨床研修到達目標項目の自己評価による研修達成度評価を行い、ローテート終了時に自己評価記載を完了する。指導医は、同評価表の研修医自己評価を確認し、当該ローテート研修の指導医評価記載を完了する。指導医による評価結果は EPOC2 上でフィードバックされる。
- (2) 臨床研修指導医は、EPOC2 上で診療・手技・患者マネジメントについて適時評価を行う。
- (3) 臨床研修指導医または上級医は、本カリキュラムの行動目標のすべてに対する観察を行い、ローテート面談を適宜実施し、形成的評価をフィードバック面談シートに記録する。ローテート終了時の面談では、適宜看護師などの指導者も入り、総合的評価のフィードバックを行い、フィードバック面談シートに記録する。
- (4) 臨床研修指導医は、研修医が作成した病歴要約により、経験すべき症候、疾病、病態に関する理解度について WPOC2 上で形成的評価を行う。
- (5) 上記評価の上、次のローテーションで何を学ぶべきかなど、目標達成の方向性を見出せるように省察の時間を持ち、話し合いを行う。

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土(第1のみ)
午前	術後診察 麻酔管理	術後診察 麻酔管理	術後診察 麻酔管理	術後診察 麻酔管理	術後診察 麻酔管理	術後診察 術前診察
午後	術前診察 麻酔管理	術前診察 麻酔管理	術前診察 麻酔管理	術前診察 麻酔管理	術前診察 麻酔管理	